



日本離床研究会通信 VOL.5

平素より当会の活動にご理解を賜り、ありがとうございます。

日本離床研究会は皆様に早期離床の最新情報をお届けするため“研究会通信”を作成し配信いたしております。ベッドサイドにおける診療・ケアに、是非、お役立てください。併せて、教育講座のご案内も同封いたしました。ご査収くださいませ。

What's New

4月より呼吸ケアチームの診療報酬算定が開始

日本離床研究会 曷川 元



大きなニュースが飛び込んできました。呼吸ケアチームの活動が診療報酬として認められることになったのです。この4月から多職種によって結成された呼吸ケアチームによって人工呼吸器離脱に向けた取り組み（カンファレンスや回診など）を行うと、週1回150点が請求できるようになりました。これまで日本離床研究会通信の中で、人工呼吸器装着患者に対する早期離床は入院期間を短縮させる¹⁾ことなどを紹介してきました。今回の改定によってこうした介入がより重要性を増し、クローズアップされることになりそうです。

今回の改定は既に結成された多くの呼吸ケアチームにとって吉報であり、大きな飛躍となるでしょう。一方で、まだ呼吸ケアチームが結成されていない病院でも、こうした取り組みが始まっていくことと思います。私共講師陣もこれまでの経験で苦労したことや活動のポイントなどを講座でお伝えできるよう努力して参ります。

今回の診療報酬改定が褥瘡予防の取り組み同様、チームを引っ張る人材が育ち、専任として働く人材が増えるきっかけになってくれることを願ってやみません。

文献 1) Morris PE, et al : Early intensive care unit mobility therapy in the treatment of acute respiratory failure. Crit Care Med 36:p2238-43,2008.

離床まめ知識

安全かつ円滑に離床を進めるには、離床を行う前に運動機能の確認を行います。関節可動域や筋力・失調の有無等を評価・アセスメントし、事前に介助量予測します。

患者さんが座位保持可能か、簡便にアセスメントする方法の一つに殿部がどのくらい上がるかをチェックする方法があります。上がり方の程度により、座位保持能力（または座位の介助量）を大まかに予測できるので、離床を安全に行うための参考にしてみてください。

お尻あげによる動作能力予測

- 不可 ⇒ 座位は困難
- 不十分 ⇒ 介助で座れる程度
- 十分 ⇒ 自力で座位が可能



受講生の皆さんからいただいた質問と回答をご紹介します。

Q&A

離床と血液データの解釈

Q 血液データでHb8.0 g/dL以下、TP6.0 g/dL以下など離床を控えたほうが良いと聞きます。端座位までなら可能、Head upまでなら可能など基準はありますか？

A 離床を行う上で「血液データがこの値だから離床はここまで」という明確な基準は残念ながらありません。また、他のデータもそうですが、一つの指標だけを見て何かを判断するということは誤った判断を導く恐れがあります。例えばHb値は貧血の指標となりますが、脱水（みかけ上Hb値の上昇）や体液過剰（みかけ上Hb値の低下）で血漿量が変化すると影響を受け、「みかけの値」をとるため、その解釈には注意が必要です。

また、出血直後では血球・血漿が同程度失われるため、たとえ大量の出血であっても正常値を示すことがあります。ちなみに慢性に経過する貧血は短時間に生じる貧血（多量の出血など）に比べて症状が強くないため、同じ値でも日常生活に支障のない方もいます。ですので、客観的情報（血液データ、画像所見など）と臨床所見とを総合的に診て、治療が開始されていることを確認し、現在の状況をアセスメントし介入を検討します。

ご質問のHb8.0g/dLという値は臨床家として「これは大変!」と思う値ですね。（呼吸ケアと早期離床ポケットマニュアルP34より）この値だけを基準に「離床はさせない」ということではなく、この数値をもとにリスク管理を考えるということです。「組織の酸素欠乏に基づく症状（眩暈、頭痛、倦怠感など）」とそれを補うための「生体の代償作用に基づく症状（息切れ、動悸、頻脈など）」の出現に注意し、対応を考えた上で離床を行っていくということがこの例にあたります。

教育講座のご案内

2010年5月から6月までに開催予定の教育講座です。現場で活躍されている先生方を講師に迎え、実践に即した内容でおおくりします。お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

日時	講座名	会場	受講料 (税込)
5月 8日	苦手を克服！循環機能の評価と早期離床（臨床編3） 「手足の冷感編」	（仙台市） 仙台市太白区文化センター	4,800円
9日	苦手を克服！循環機能の評価と早期離床 基礎・評価編1日講座	（浦和市） 埼玉会館	9,800円
15日	早期離床のリスク管理 ～「起こしたから悪くなった」といわれないために～	（福岡市） 福岡市立中央市民センター	4,800円
15～16日	わかる！読める！胸部レントゲン写真読影の実践（2日間）	（神戸市） 兵庫県私学会館	19,800円
6月 5～6日	シリーズ「人工呼吸器」実技編 やってはいけない！人工呼吸器ケアテクニカルレクチャー	（大阪府） 高槻現代劇場	14,800円
19～20日	急性期リハビリテーションにおける 臨床評価のポイント（基礎コース）	（東京都） 江戸川区総合文化センター	19,800円
26日	苦手を克服！循環機能の評価と早期離床（臨床編2） 「息切れ編」	（名古屋市） 名古屋市公会堂	4,800円
26日	新しい呼吸ケアの考え方 実践！「早期離床」ベーシックコース	（長野市） 長野市民会館	9,450円
27日	心臓血管外科術後の早期離床 ～急性期における介入戦略とその展望～	（福岡市） 福岡国際会議場	12,800円